

平成 23 年度 事業報告書

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

社会福祉法人 豊生会
三恵保育園

平成23年度 三恵保育園事業報告書

1 保育園の運営

(1)定員 170名

(2)年齢別・月別入所児童数(各月初日現在)

年齢 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳 児	2	5	5	7	8	8	9	9	9	9	9	9	89
1～2歳児	48	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	598
3 歳 児	36	36	35	35	35	35	35	34	35	36	36	36	424
4歳以上児	71	74	74	74	74	75	75	75	75	74	74	74	889
計	157	165	164	166	167	168	169	168	169	169	169	169	2000

(3)職員数 平成23年度初 29名 平成23年度末 31名

(4)職員の異動

- ①採用 5名
- ②退職 8名
- ③休業 2名(産休・育休)

(5)職員会議等の開催状況

毎月2回開催し、保育当番以外の正規の職員が参加し、臨時職員においては、自由参加として会議に加わった。

1回目の会議では、行事等の打ち合わせを行い、また各クラスの様子や保育内容の確認等を話し合った。2回目の会議では、主に研修発表を行い、外部研修参加者による報告をした。

また、6月と3月には給食会議を開き、給食室内部の不具合等を話し合い、より作業しやすい環境づくりに努めたり、残飯の量で子どもたちの食べ具合を確認したり、職員の意見を聞き、よりよい献立作りに努力した。

職員会議、給食会議の内容は、議事録として記録した後、回覧によって出席できなかった職員にも正確に伝わるようにした。

また、行事ごとに“実施計画表”を作成し、それに基づいて話し合いをしていくことで全職員が内容を把握することができ、来年以降の計画を立てていくことにも役立てる。

2 保育の実施状況

(1) 保育・運営理念

- *子どもたちが「今日も来てよかった。明日も来たいな」と思える保育園
- *保護者が安心して子どもをあずけ、働ける保育園
- *地域から「あって良かった」と感じ、言ってもらえる保育園

(2) 保育目標

- *温かな雰囲気の中で、互いの命を大切にできる安定した情緒を育てる。
- *様々な体験を通して、健康をはぐくみ、興味関心や言葉、創造力を育てる。
- *高齢者や友達との関わりを通し道徳性の芽生えを培い、豊かな人間性を育てる。

(3) 保育時間 午前7時30分～午後7時00分
 (延長保育時間 午後6時30分～午後7時00分)

(4) 保育内容

- ◎保育目標に基づき、子どもの情緒が安定した生活ができるような環境に配慮し、またひとりひとりが自己を十分発揮して、積極的に活動できるようにした。
- ◎基本的な生活習慣や集団生活に必要なルールを遊びの中で身につけさせていった。
- ◎マーチング・体育教室を通して、機敏な動作、正しい姿勢や責任感を身につけさせた。また、目標に向かって協力し合い、個々の役割を果たすことで達成感を味わい、クラスとしてのつながりを深めていった。
- ◎法人内の老人施設との交流において、老人に対するいたわりの心や親切、感謝などの気持ちを持たせていった。
- ◎食育の一環として、年長児を中心にじゃが芋、さつま芋苗、さやえんどうなどを育て、収穫した野菜は、昼食やおやつとして調理したものを食べたり、年長児に持ち帰らせたりして食物への関心を深めていった。
- ◎特別支援児童への対応
発達に心配のある児童については、クラス担任がその子どもの様子を把握した上で、高崎市で行なわれる発達巡回相談を利用して相談したほか、“社会福祉法人二之沢愛育会 群馬整肢療護園”の臨床発達心理士及び臨床心理士である久保園敏明先生に依頼して、園児の様子を観察し助言をいただいた。
また、保護者・園長・主任保育士で懇談する場を何度か設け、家庭と保育園が一体となって園児の対応にあたっていけるよう配慮した。

(5)外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導日
鼓笛指導	稲垣摩美	毎月1回(年長・年中)
体育指導	堤 綾乃	毎週水曜日(年長)・隔週水曜日(年中)
英語指導	アレックス・フォン・アルテンシュタット	毎週金曜日(年長)

(6)実施した特別保育事業名

- ◎延長保育促進事業
- ◎保育所地域活動事業 世代間交流等事業

3 給食の実施状況

0～2歳児 完全給食に加え、10時と15時のおやつを実施

3～5歳児 完全給食に加え、15時のおやつを実施

◎アレルギー体質の子どもには、事前に家庭からアレルギー除去食を知らせてもらって対応した。

◎3時のおやつには、工夫を凝らした手作りのものを多く取り入れた。市販のものを利用する場合は、無添加のものを与えた。

◎年齢による咀嚼力の差を考慮しながらあごの筋肉を鍛えるために噛み応えのあるものを提供した。

◎味付けは化学調味料を使用せず、素材の味・風味をいかした薄味にした。

◎入口付近にその日の献立を展示して、保護者にもわかりやすく伝えた。降園時には、親子で楽しそうに話している様子が見られた。

◎食前食後の挨拶をし、感謝をしていただくという気持ちをもたせ、みんなで食べる楽しさや行儀面の意識を高めた。

◎保育参観では、4・5歳児の保護者に試食をしてもらったり、人気のあるメニューのレシピを作成したりして、保護者にも給食に関心を持ってもらった。

4 健康管理の実施状況

(1)児童

①内科検診

年2回(6月9日・11月24日)園嘱託医による健康診断を実施。検診当日、欠席の児童は後日受診し、全園児の健康管理に努めた。

②歯科検診

年1回(6月21日)園嘱託医による健康診断を実施。検診当日、欠席の児童は後日受診し、全園児の健康管理に努めた。

- ③年1回(6月8日)ぎょう虫検査(全園児)を実施。全員異常なし。
- ④毎月身体測定を行い、計測値はおはようブックの身長体重測定表に記入。
- ⑤市から配布される「ほけんだより」を配布・掲示して、健康管理や感染症などの注意を促した。

(2)職員

①定期健康診断

日高病院にて、全職員が健康診断を7月～8月に実施。

(一般健診対象者が8名、政管生活習慣病予防健診対象者が21名)

②検便

月に1～2回(季節による)、高崎・地域医療センターに依頼し、「赤痢菌・サルモネラ菌・病原性大腸菌(O-157)」の検査を、給食職員・0歳児担当職員を対象に実施。全員異常なし。

③予防接種

ひぐち内科クリニックに依頼して、11月に全職員がインフルエンザ予防接種を受けた。

(3)その他

年に2回、群馬県健康づくり財団にて「ブドウ球菌」「大腸菌群」の検査を実施。給食の検体を持参し検査。いずれも異常なし。

5 非常災害危機防止等防災訓練の実施状況

(1)避難訓練

月1回避難訓練を行い、火災・地震等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導。

2月7日には、高崎警察署のスクールアドバイザーの方と地域ボランティアの方々の協力のもと、不審者侵入を想定した訓練を行なった。

3月12日には北消防署員5名立会いのもと通報・消火・避難訓練を実施。職員に対して実際に訓練用水消火器を使つての訓練も実施。避難時や誘導時また消火の際の留意点を再確認することが出来た。

(2)交通安全

高崎市交通地域安全課による「幼児安全教室」が行われ、交通ルールについての指導を受けた。7月28日には、園内ホールにて以上児を対象に交通安全について興味を持たせ、ルールを守ることの大切さの指導を受けた。

3月1日の年長児を対象とした交通公園での交通安全教室では、交通の決まりに従つた歩行練習などの指導を受けた。

6 研修

◎職員の外部研修会への参加状況

23/5・7	県保育士分科会総会・講演会「保育者に求められること」	保育士
5・14	市保育士分科会総会・演奏会「ミラクル玉手箱」	〃
5・25	民保協総会・研修会「安全管理のポイント」	〃
5・18	民保協総会・研修会「保育の人材育成と思いやり保育」	園長
6・7	プール管理研修会	保育士
6・10	救急法講習会	〃
6・14～15	県外視察研修会「横浜市 とつかルーテル保育園」	〃
6・14	新任職員研修会「保育士としてのマナーとコミュニケーションの重要性」	〃
6・22～23	新任保育士研修会「社会人としてのマナー」	〃
6・27～28	夏期職員研修会「視察研修 千葉県 今井保育園」	〃
7・28	主任保育士研修会「アレルギー対応ガイドライン」他	〃
8・3	中堅保育士研修会「メンタルヘルスについて」他3講演	〃
8・17	主任保育士研修会「コーディネーター研修会①」	〃
8・22	健康・安全研修会①「乳幼児の疾病と事故の応急処置」	〃
8・23	健康・安全研修会②「乳幼児の救急と家庭 関連機関との連携」	〃
9・7	給食担当者研修会「子どもたちの未来にむけた食育活動」	調理師
9・26	新任保育士研修会「カウンセリング」	保育士
9・27	新任保育士研修会「保育実践の向上」	〃
10・14	主任保育士研修会「コーディネーター研修会②」	〃
10・27～28	関東ブロック保育研究大会「相田みつを 子どもへのまなざし」	〃
11・28	主任保育士研修会「コーディネーター研修会③」	〃
1・17	子育て支援スキルアップ講座	〃
1・20	群馬県保育研究大会「保育園でちょっと気になる子どもたち」	〃
2・1	男性保育士研修会「施設長から見た男性保育士の魅力」	〃
2・1～2	県外視察研修会「横浜市 おおつな森の保育園」	〃
2・15	主任保育士研修会「子どもに発見と創造の喜びを」	〃
2・22	救急法講習会	〃
2・24	合同支部研修会「自然は子どもたちの宝物」	〃

8 保育実習生、中学生職場体験等の受け入れ状況

(1) 保育実習生

期 間	学 校 名	氏 名
23・7・25～8・9	東京福祉大学	
8・17～8・31	育英短期大学	
8・29～9・13	十文字学園大学	
24・1・16～1・31	群馬社会福祉専門学校	
2・6～2・20	育英短期大学	
2・13～2・25	聖徳大学	
2・13～2・29	群馬医療福祉大学	

(2) 職場体験学習(やるベンチャー)

期 間	学校名・学年	備 考
23・5・16～5・20	中尾中学校2年生	5名
23・9・12～9・16	塚沢中学校2年生	2名

(3) ボランティア

23・7・25～8・3(35時間)	高崎東高校	
8・15～8・24(35時間)	高崎東高校	
9・8～9・10	育英短期大学	
3月数日	群馬医療福祉大学	
土曜日9:00～15:00	群馬医療福祉大学	
月曜日7:30～12:00	群馬医療福祉大学	
木曜日15:00～18:30	群馬医療福祉大学	

9 その他

*苦情関係について

希望保育期間中のお弁当持参について、数名の保護者から高崎市役所へ苦情のメール1通、手紙1通、電話5件があったため、緊急職員会議を設け対策を話し合った。

その結果、7月22日 18時30分から“臨時保護者全体会”を開催し、お弁当持参となった経緯を含め保護者に説明することになった。当日の参加者は18名、委任状の提出は114名。

参加者18名は、全員がお弁当持参に賛成であったため、反対派の率直な意見は聞くことが出来ず、話し合いの内容としては、アレルギー対応の食事作りや手作りおやつなど給食に関する感謝や、ドライブスルーでの送迎を喜んでいるとの和やかなものになった。

希望保育中のお弁当に関しては反対意見もあったため、給食提供日も設けることにし、全体会の報告と共に全保護者に通知を配布してこの苦情に関する問題は終結した。